

平成 28 年度琉球大学法科大学院
B 日程（甲方式） 未修者コース 入試問題

小 論 文

平成 27 年 11 月 1 日（日曜日）
10 時 30 分～11 時 30 分（60 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚、下書用紙 1 枚を配布します。
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この試験の解答として提出された小論文は、面接の際の資料として用いられます。
小論文に対する評価は、面接試験の得点の中で評価されます。
- 3 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 4 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、
受験番号と氏名を記入してください。
- 5 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が
薄くならないように十分注意してください。
- 6 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 7 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 8 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題

次の【事例】を読んで、後記〔設問〕に答えなさい。

【事例】

甲大学は4年制の大学である。甲大学の期末試験に関する取り決めの中には、以下のようなものがあり、いずれも、教員や学生に広く周知されていた。もっとも、この取り決め以外に、試験開始時刻に遅刻してきた学生の扱いに関する取り決めはなく、また、追試を行うべきか否かに関する基準となるような取り決めもなかった。

- ① 期末試験に遅刻をした者については、試験開始から30分以内に入室した者に限り、受験を認める。
- ② 期末試験を受験する学生は、試験中、机上に学生証を呈示しなければならない。なお、学生証を忘れた場合は、学生部で仮学生証の発行を受けて、これを机上に呈示するものとする。

ところで、甲大学のA教授担当のある専門科目（3・4年次配当の必修科目で、その年の受講生は約80名であった。）の期末試験（試験時間は120分であった。）において、以下のような3名の学生が遅刻してきたが、A教授は、学生Xについてのみ受験を認め、学生Yと学生Zについては、受験を認めなかった。また、追試等の救済措置も執らなかつた。

○学生X 寝坊をして25分間遅刻してきた3年次の学生。学生証は所持していた。

○学生Y 寝坊をして20分間遅刻してきた3年次の学生。ただし、学生証を忘れていたため、学生部で仮学生証の発行を受けて戻ってきたところ、試験開始から35分が経過していた。

○学生Z 電車のダイヤが大幅に乱れて40分間遅刻してきた3年次の学生。電車の運営会社発行の2時間の遅延証明書を持参しており、他の情報と総合すると、遅刻の原因がダイヤの乱れにあることは、ほぼ間違いなかった。なお、学生証は所持していた。

〔設問〕

自分が、【事例】中のA教授の立場であれば、3名の学生に対し、どのような理由により、どのような対応をとるかについても触れながら、A教授の対応の当否について論じなさい。

以 上